

官房機密第八回號

指令案

昭和拾貳年壹月拾貳日發布濟

昭和十二年一月十二日

大臣

職工五名上海、派請ノ件

昭和十一年
17 認許
ス

(終)

極秘

十二月二十一日

艦政本部

人事局

軍務局

昭和十一年十二月二十三日

佐世保海軍工廠長

佐世保海軍工廠長印

職員職工外國出張ノ件上申

官房機密第七三八番電訓令ニ依ル上海海軍特別陸戦隊九三式一號方位測

備工事ノ爲左記ノ通當廠造兵部職員職工ヲ派遣致度候條御認許相成度

記

自十二年一月十六日 長崎發 滯在日數十一日 海軍技手 田坂善一

外職工四名

自十二年一月廿九日 上海發 滯在日數七日 職工一名

(終)

司令長官 陸軍部 海軍部 留官 謀 記

谷口 佐世保 11.12.24 佐世保海軍工廠

紙 箋 附

昭和十二年一月

當部田

總務部長

第三部長

海軍

(谷)
 佐藤 接受
 11.12.24
 佐藤 印

海軍 第五 部長 印

一號方位測定
 御認許相成度

善一

工四名

上一名

(終)

軍ヤ

附箋紙

昭和12年1月7日

當部田共存無之

海軍艦政本部總務部第一課

總務部長

第一課長

第三部長

三箇

漢

大

馬

2.17

12.17 信光

2.17 田

0157

0158

部内限



昭和拾貳年壹月廿貳日公報掲載

起案第一號

發送番號

中華民國八出張命令

海軍少佐木阪 義胤

辭令

昭和十二年一月二十一日

起案

起案者捺印



昭十二年一月廿二日發付

發付係捺印

發付後起案者捺印

主務

人事局長



第一課長

逸永

局員



大臣

副官

次官

書記官

軍務局長

第一課長

局員

經理局長

第一課長

局員



一月廿二日



1.21

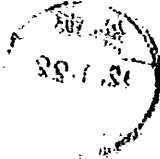


		陸軍省	海軍省									
--	--	-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

昭和十一年一月十三日

備考、本旅行中一部飛行機ヲ使用ス

(9. 9. 1.000)



軍令部 第一機密 第一課 第一課長

軍務局長

昭和十二年一月十九日

第一課



軍令部 第一課長



軍務局長 第一課 12.1.19 受接

海軍省軍務局第一課長殿

主務部員中北支方面實地踏査ノ件協議

首題ノ件當部木阪少佐ヲシテ左記ニ依リ實施セシメラレ度内意ニ候條

可然御取計相成度

出張万全ニシテ記

一期間 昭和十二年一月廿二日ヨリ同年二月十七日まで

海軍

(本田納)

附箋紙

昭和 年 月

旅行中ハ行
國及實地ハ
ハ採テテ
尚取テテ
シテテ
テテテ

軍

候
條

12.1.19
受接

出納

附 箋 紙

昭和 年 月 日 海軍省軍務局

移り申す、行部より前記の如き中、華民
 國及家憲ハ身揃一般氏、治書ヲ曉知セ
 此係之ヲ流音ナルコト
 尚、牧師ヨリ書面送、森海部ハ勿、物ハ、サ
 レ、イ、シ、グ、程、知、り、乃、ハ、子、又、智、地、海、中、部、有、ト
 之、不、可、務、之、其、ノ、階、系、ハ、之、ヲ、取、引、セ、サ
 ント

1910

主要踏査地

上海附近

杭州及杭州灣北岸方面

下揚子江（南京下流）

海州

青島附近

山東省北岸方面

日程

別表ノ通

（末田納）

（終）

海軍

(本日)

(別表)

木阪少佐旅行豫定

月 日	曜	行 動	行 事 豫 定	記 事
1 - 2 2		東京		
2 3		↓ 汽車		
2 4	日	長崎 → 長崎		
2 5		↓ 汽船		
2 6		上海	机上研究	
2 7			上海都外踏査	
2 8		✓ 自動車		
2 9		上海 → 杭州		
3 0			上海杭州間踏査	
3 1	日	汽車 杭州 → 上海		

730.480
722.7

0163

海 軍

2-1	1	上海	汽船	南京	上海南京間兵要視察	片途ハナルベク海軍艦 船便トシ要スレバ日程 ヲ改ム
	2					
	3					
	4	南京	飛行機	上海	青島附近踏査研究	爲シ得レバ途中海州ニ 一泊
	5	上海		青島		
	6					
	7					
	8					
	9	青島	汽車 自動車	濰縣 → 羊角溝	山東省北岸方面視察	
	10	羊角溝	自動車	濰縣		
	11	濰縣		芝罘		
	12	芝罘		威海衛		
	13	威海衛	汽船	大連		

24
G
C

0164

海軍

(本 冊)

2-14	日	大連		
15		汽船		
16		門司	門司	
17		汽車	東京	

0165

海 軍

複製
不載

起案第一號

昭和十二年一月二十五日起案

起案者捺印

間

月

日發付

發付係捺印

發付後起案者捺印

主務

人事局長

第一課長

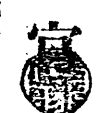
德永

局員富岡

大臣



副官



次官



書記官



軍務局

12.1.25

軍務局長

第一課長

保科高員

局員

經理局長

第一課長

本

局員

局員

軍令部

命令案

沖島二便兼

海軍大佐 井上保雄
海軍少佐 高橋長十郎

發送番號

海軍



和

昭和十二年一月二十七日

海軍省人事局長

軍令部次長
松野 實

辭令ノ件通知

別紙ノ通發令相成候條本人ニ傳達相成度

追テ本件ハ極秘ニ付官公報等ニハ掲載セラレズ爲念

(別紙五葉添)

(終)

(双文併録)

海軍

(10・5-1,000.)

秘

外南洋方面へ出張ヲ命ス

昭和十二年一月二十七日

海軍大佐 井上保雄

海軍省

海軍

(木田稿)

秘

外南洋方面へ出張ヲ命ス

昭和十二年一月二十七日

海軍少佐 高橋長十郎

海軍省

海軍

(本田納)

次長



外南洋方面視察旅行計畫

副官



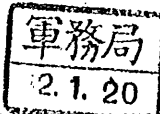
軍令部第三部部員

海軍大佐 井上保雄

横須賀鎮守府出仕兼參謀(南洋群島在勤)

海軍少佐 高橋長十郎

副官



目

軍務局

第一課長

局員

神尾

寄港各地及其ノ附近ノ視

第十戰隊沖島

第一南洋方面

航路

ヲ利

寄港

各地

及其ノ附近

ノ視

察

ヲ行

ヒ該地

方

ヲ

人事局長

該地

方

ヲ

行

ヒ該地

方

ヲ

行

ヒ該地

方

ヲ

行

ヒ該地

方

ヲ

調査蒐集シ以テ執務竝ニ南方諸問題ニ對スル適確ナル對策樹立ニ資ス

ントス

第一課長

徳永

局員

西



軍



(本田納)

一 旅行要領

(一) 井上大佐及高橋少佐ハ「バラオ」ニ於テ夫々沖島ニ乗艦、「トラツ」ニ於テ退艦汽船便ヲ以テ高橋少佐ハ「バラオ」ニ井上大佐ハ横濱ニ歸投ス

(二) 身分ハ秘匿セス

夫々軍令部部員、横須賀鎮守府參謀ノ儘トシ沖島便乘旅行トス

二 旅行日程

月	日	井	上	大	佐	高	橋	少	佐
一	二八	東京發	(汽車)						
		横濱發	(汽船)						

(本田納)

海軍

二〇	ダバオ發	
一六	ダバオ着 陸上旅行	以下井上大佐ニ同ジ
一四	バラオ發 沖島乗艦	バラオ發 沖島乗艦
一三	バラオ着 バラオ滞在	
六	ヤツブ着 ヤツブ發	
五	テニアン發	
三	サイバン着 (陸泊)	
二	サイバン發	
二一	サイバン着 (陸泊)	

海軍

(本田納)

一二	九	八	六	五	二	三 一	✓ 二六	二四	✓ 二二
マノクワリ 發 陸上旅行 陸泊	マノクワリ 着 陸上旅行 陸泊	プーラ 發 陸上旅行 陸泊	プーラ 着 陸上旅行 陸泊	ドボ 發 陸上旅行 陸泊	ドボ 着 陸上旅行 陸泊	アンボン 發 陸上旅行 陸泊	アンボン 着 陸上旅行 陸泊	メナド 發 陸上旅行 陸泊 宿泊料 一七圓 自 當 八 圓 五 〇	メナド 着 陸上旅行 陸泊 宿泊料 一七圓 自 當 八 圓 五 〇

海
軍

(本
田
納)

四	二七	二五		二一	二〇	一九	一八	三 一七	
三	横濱着 東京着	パラオ発	パラオ着	トラツク発(汽船)	トラツク着(沖島退艦)	モートロツク発	モートロツク着	グリユツチ発	グリユツチ着
			パラオ歸着						

海軍

(本田納)

9410
石載 公報

水産部系
三二〇日
(海軍中佐)

起案第一紙一號

昭和十二年一月廿七日起案
起案者 捺印 間
一月廿九日發付
發付係 捺印 水谷
發付後起 案者捺印

丁世九書令通令

大臣 副官
次官 書記官
主務 人事局長
第一課長 局員
富岡

軍務局
2.1.26

軍務局長 第一課長 保田局員
經理局長 第一課長 山本 第三課長 局員

海軍中佐 矢牧 章
軍令部部員
上海へ出張命令

發送 番號
海軍省 陸軍省 入濟

經理局
12.1.27
接受

附 錄 紙

昭和
石載
二日
上海
矢牧

濟

章



1. 26

岡

印起

818



逓理局
12.1.27
接受

紙 箋 附

昭和 年 月 日

吳 敬 堂

上海 空 港

二月 三日 發

十七日 啟

心 尚 敬 也 不

4410

6410

公報内報限

昭和拾貳年
一月廿七日

號一第紙野案起

昭和十二年

一月廿七日起案

起案者捺印

閏

月 日 發付

發付係捺印

發付後起案者捺印

發付後起案者捺印

主務

人事局長

美

第一課長

徳永 局員

富岡

大臣

副官

副官

副官

次官

書記官

書記官

書記官

軍務局長

第一課長

局員

局員

經理局長

第一課長

第三課長

局員

昭和拾貳年壹月卅日

公報機號

辭令案

海軍中佐 相徳

一郎

海軍少佐 西澤

誠二

發送番號

每頁

1.27

1.30

經理局
12.1.27
接受

軍務局長

人事局長

經理局長

昭和十二年一月十三日

第一課長

保科

長官

子

相

軍令部第四部

III

濟

8

濟

部員派遣ノ件

手記
三月九日
上海

第三艦隊機密第二四一號ニ依ル照會及第三艦隊通信計畫打合せ並ニ上海方面ニ於ケル通信狀況調査等ノ爲左記ニ依リ當部部員ヲ第三艦隊ニ派遣ノコトニ御取計ヒヲ得度

記

七八日

第三艦隊通信計畫打合せ

派遣期日

二月七、八、九日ノ三日間上海滞在ノ豫定ヲ以テ派遣ス

0181

海軍

(本山納)

派遣人員及要務

要務	官	氏名
<p>一 第三艦隊通信計畫ニ關スル打合せ</p> <p>二 上海方面ニ於ケル通信狀況調査視察</p> <p>三 第三艦隊機密第一四號ノ九ニ關スル事項ヲ含ム</p> <p>四 第三艦隊機密第二四一號第一項ニ關スル打合せ</p> <p>五 第三項ニ關スル視察</p>	<p>中佐</p>	<p>相 德 一 郎</p>
<p>一 上海方面ニ於ケル通信狀況調査視察</p> <p>二 第三艦隊機密第一四號ノ九ニ關スル事項ヲ含ム</p> <p>三 第三艦隊機密第一四一號第一項ニ關スル講話</p> <p>四 第二項ニ關スル打合せ</p>	<p>少佐</p>	<p>西 澤 誠 二</p>

(本田納)

海 軍

月十三日	月十二日	月十一日	月自七日 至十日	月六日	月五日	月四日	二月三日	月日	上海方面旅行豫定	海軍中佐 相徳一郎	海軍少佐 西澤誠二
	長崎	上海			長崎		東京	祭地名	着地名	利用交通機関	記
東京	長崎			上海	長崎						事
列車	上海丸			上海丸	列車						
			別紙之依り第三艦隊ノ要務打合 視察、講話等								



校道半葉十三行野紙(本田繪)

海

軍



0184

公報

部内限

昭和拾貳年

一月五日

起案野紙第一

公報掲載済

昭和十二年

一月三十日起案

起案者捺印

間

月

日發付

發付係捺印

發付後起案者捺印

主務

人事局長

第一課長

局員

大臣

副官

次官

書記官

軍務局長

第一課長

局員

經理局長

第一課長

局員

辭令案

海軍中佐鳥越新

滿洲國へ出張命令

發送番號

海軍

經理局 12.2.2 受

格典 12.2.2

		車務局長 (印)		第一課長 (印)		第二課長 (印)		局員 (印)	
		人事局長 (印)		第一課長 (印)		第二課長 (印)		局員 (印)	
		要求施設 關及 事務 打合		水陸施設 觀察 並 十二年度 施工 豫定 施設 及 十三年度					
		經理局長							
日	種	列	地	記					
二月五日		二三〇〇	東京	七列車					
同 六日		二二三〇	下關						
同 七日		〇七三〇	釜山						
同 八日		〇七四〇	奉天	列車ノソ					
		一五〇〇	新	京					

海軍省軍務局

鳥越海軍中佐

海軍

(本田納)

同十五日	同十四日		同十三日	同十一日		同十日	三月九日
		一三〇〇	〇九五〇			一五〇五	
〇七四九			一〇五〇	一六五〇		〇九二〇	
旅順			大連	哈爾濱			

海軍

(本田納)

同十九日	同十八日	同十七日	同十六日				
二三四〇	一四三五	一〇一〇	三三三〇	一九一六	一四三三	一四〇一	〇九一五
一四三五	一〇一〇		三三五〇	一九三五	一八四五	一四〇〇	一〇三〇
鐵山	東城	平塚	奉天	大石橋	營口	大石橋	大連
列車ノソミ			營口海軍用地觀察				

海軍

(本田納)

海
軍

二月二十日	○七一五	○九一五	下	關
同二十一日	○七一〇		東	京

(本田納)

0610

公報

部内限

號一第紙野案起

昭和十年一月二十八日起案

起案者捺印

間

發付係

發付係捺印

發付後起案者捺印

經理局 12.1.29 接受

主務

人事局長

第一課長

第一課長

局員

局員

局員

大臣閣

副官

次官

書記官

軍務局長

第一課長

局員

經理局長

第一課長

第二課長

第三課長

局員

昭和拾貳年貳月參日 公報掲載済

命令

海軍中佐 石塚

千俊

上海へ出張命令

發送番號

每頁

昭和十年一月二十八日 12.1.30 接受

軍務局長



第一課長

局長



昭和十二年一月二十七日

人事局長

經理局長

海軍省軍務局第一課長殿

軍令部第二課長



特命檢閲事項打合ノ爲主務部員出張ノ件照會

昭和十二年第三艦隊特命檢閲ニ關スル打合ノ爲左記ニ依リ主務部員ヲ出

張セシメ度

(終)

(本田箱)

海軍

昭和十二年第三艦隊特命檢閲打合ノ爲出張ノ件

出張者 海軍中佐 石塚千俊

出張日程

月日	行	動	記	事
二一三	東京發		第一列車	
二一四	長崎着			
二一五	長崎發		上海丸	
二一六	上海着			
二一七				
二一八				
二一九				
二一〇				
二一一	上海發		長崎丸	
二一二	長崎着、長崎發			
二一三	佐世保發			
二一四	東京着			檢閲使乗艦ト打合

SP司令部ト打合
 並上海方面視察
 用款カ三日ニテ可ク天候航上

(本田納)

海軍

0194

公報

部内限

起案第一號

拾貳年貳月六日 公報掲載済

昭和十二年二月一日 起案

捺印

明印

拾貳年貳月六日

捺印

發付後起案者捺印

主務

人事局長

第一課長

局員

大臣

副官

次官

書記官

軍務局長

第一課長

局員

經理局長

第一課長

第二課長

局員

辭令案

系通

海軍書記

大村

益龜

枝助

發送番號

軍務

中華民國へ出張の命

昭和三年二月五日

陸軍省

出張上申書ハ 石里 主計少将 出張移命案ニ
付

(0. 9. 1.000)

9670

公報

部内

昭和拾貳

號一第紙罪案起

發送
番號

滿洲國へ出張の旨

海軍技師補目 正康

貳月拾五日公報掲載済

辭令案

昭和十二年二月八日起案

起案者
捺印

間

月

日發付

發付係
捺印

發付後起
案者捺印

主務 人事局長

第一課長

局員

大臣閣

副官

次官

書記官

軍務局長

第一課長

局員

經理局長

第一課長

局員

12.2.10

12.2.10

考査官

捺印

昭和十一年二月十五日

海軍省

園像牛車書
火葬場爆薬部長川柳義重出張車係付しアリ

(爆薬園像係係調査証一般化工業状況)

二月中旬の約三週等
三月中旬の内

公報 部内限

號一第紙罪案起

昭和拾貳年貳月拾五日公報編纂務

昭和十二年二月八

日起案

起案者捺印

間

昭和十二年二月十日發付

發付係捺印

發付後起案者捺印

發付後起案者捺印

主務

人事局長

美

第一課長

局員

大臣

副官

次官

書記官

軍務局長

第一課長

局員

經理局長

第一課長

局員

12.2.10 經理局長

軍務局 2.2.9

辭令案

海軍少將 川瀬 義重

滿洲國へ出張命令

發送番號

毎頁

經理局 12.2.10 接受

昭和十二年二月十五日

海軍省

楠田少将ノ別案

(文官取係)

海軍入隊五十一號

臺灣案

昭和十二年二月十三日

大臣

内閣總理大臣宛

官吏海外出張ノ件ノ臺灣

左記ノ者ニ對シ別記豫定ヲ以テ樺洲國
へ出張ヲ命ジ後ニ付認可相成度

記

海軍少将 川瀬 義重

(9. 9. 1.000)

(別記)

一 目的

二 出発

三 期間

四 旅費支出科目

資源調査 翌二視察

二月中旬

約三週間

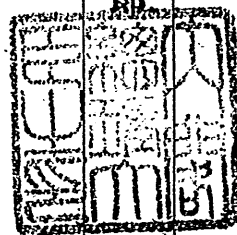
海軍火薬廠作業費

院

内閣海 第二九 號

昭和十二年二月十三日

内閣總理大臣 林 銑十郎



海軍大臣 米 内 光 政 殿

指 令

海軍少將川瀬義重滿洲國へ出張ノ件認可ス

内閣

12.1.29
田村
受接

爲左

紙箋附

昭和12年2月6日 海軍省軍務局

火薬廠先化検査官末有 如件ハ

火薬廠トシテハ 迄前多希望ニシテモ事務力

維持ヲ實現ニ得サリシガ今面萬障繰リ出

ルニ出張タルノ要アリシ上申シテモノナリ

トノ由 如件ノ視察ハ第2次旅支隊

ヨリアリシガ今面ハ二回目ナリ
許可可也

0203

支出費目

昭和十二年 自二月中旬ノ間 約三週間
至三月中旬

海軍火藥廠作業費

(終)

(本田樹)

海軍

綴書類

昭和十二年二月十八日 起案者捺印

月

日發付 發付捺印

發付後起案者捺印

主務局、部
取扱者捺印

起案單紙中 (未出納)

(主務) 人事局長 第一課長 總務局 員

副官

大臣 次官

書記官

軍務局長 第一課長

經理局長 第一課長 第三課長

局員

局員

局部	受月日	發月日
官房	二、二〇	
軍務	二、一九	
人事		
教育		
軍需		
醫務		
經理		
建築		
法務		
航空		
艦政		
軍令		

經理局 1922.2.20 接收

解令案

海軍省 杉田 主馬

海軍書記官 杉田 主馬

滿洲國又中華民國之出張命令

海軍省

公報

二〇附

3320 / 保期 發付送 完結送 永永

0205

號番

第

頁

北支滿州国出張ニ関スル件ニ見

杉田書記官

模造半葉十三行紙 (富井納)

目的及聯絡ヲ取シトスル諸機関人名等

一 北平天津方面

北支東輸入ノ件 天津協定(附北支自由飛行問題)ニ関スル件 北支東支

北支東政權ノ現勢其他ノ国際問題ノ實地視察

在北平海軍輔佐官 加藤大使館書記官

在天津駐在武官 大江領事 萩原領事

二 滿州国朝鮮方面

国際河川航行問題 水路協定ノ件 沿外沿権ノ撤廃滿州国協和

会ノ性質其他ノ国際国内問題ノ實地視察

海軍

公報
部内
限

0211

保期	2	2	2	永
機期	發	付	迄	永
機種	()	()

級書類

昭和十二年二月十九日起案
起案者捺印
 第一課長
發付掛
 局、部
受月日
 發月日
發付後起案者捺印

(主務) 人事局長
 (主務) 第一課長
 局員

副官

大臣閣
 次官

書記官

軍務局長
 第一課長
 局員

經理局長
 第一課長
 局員

法務局長

軍令	艦政	航空	法務	建築	經理	醫務	軍需	教育	人事	軍務	官房	局、部
											二月廿	受月日
												發月日

辭令案

海軍法務官 井崎富之助

海軍録事 村田利男

滿洲國へ出張命令

(冬通)

十二月十九日

昭和拾貳年貳月廿日
公報掲載済

號番

主務局、部
 取扱者捺印

起案部紙申(木田)

經理局
 12.2.20
 接受

昭和十一年二月十一日

海軍省

海

軍

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0213

紙箋附

昭和十二年二月廿日 海軍省軍務局

本件突状聴取ニシテ受刑ニシ
 別紙ノ如キ諸問題ヲ研究シテ
 リ尚各地限官憲トノ連絡ヲ於テ
 又海軍部外者ニ多数ノ同僚
 先此等在突状ニ加ルニシテ
 好部 合ナリト由
 依テ予等諸ノハ其ノ準備ヲ於テ
 努力ヲ爲スルニテ有意義ニシテ
 此ノ際以テ所望ノ事ヲ為シ
 海軍省軍務局 田

司令長官 官 義

参謀長 官 特

副官 官 特

海軍省 官 特

海軍省 官 特

海軍省 官 特

海軍省 官 特

海軍省 官 特

横法第二四號

昭和十二年三月十六日

海軍省軍務局 田

海軍省 官 特

海軍

海軍省 官 特

12.2.16
42-2-18

12.2.17

(終)

業務上横領被告

0214

人事局

司令長官 義

参謀長 陸

副官 陸

海軍

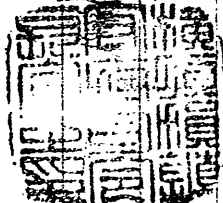
横法第二四號

昭和十二年三月十六日

經理部長 横須賀鎮守府軍法會議首席海軍法務官 島田

海軍大臣 殿

二月十九日進



官吏外國出張ニ關スル件上申

海軍法務官 井崎 富之助

海軍録事 村田 利男

右元海軍航海學校主計長海軍主計中佐田中忠一ニ對スル業務上横領被告
事件ノ證人取調ノ爲左記へ出張ヲ命セラレ度

記

出張先 滿洲國吉林省吉林

(終)

式月拾九日

海軍

12.2.15
42-2-18

12.2.17

0215

0510

抄本
三三六〇

起案紙掛號

昭和拾貳年參月八日 公報掲載済

昭和十二年 三月 三日 起案

起案者
捺印

関

昭和十二年三月八日

發付係
捺印

永

發付後起
案者捺印

主務

人事局長

関

第一課長

徳永

局員

関

D

大臣

関

副官

関

次官

書記官

永

軍務局長

第一課長

局員

經理局長

第一課長

第三課長

局員

辞令案

海軍少佐 今泉

肇

上海へ出張命令

發送
番號

海軍

局
2.3.5.

給與
12.3.6.
松美

聖澤

經理局
12.3.6
松美



軍務局長

久

第一課長

久

石員



昭和十二年二月十五日

軍令部第十一課長



軍務局第一課長殿

外國出張ニ關スル件 照會

左記ニ依リ當課勤務海軍少佐今泉肇ヲ上海ニ出張セシメ度候條可然御取
計ヲ得度

記

一、出張ノ目的 情報要務

二、出張ノ時期及期間 三月^{上中}上海滞在四日間

(終)

海軍

(木田抄)

外国出張ニ関スル件

軍令部第十 傳

左記ニ依リ海軍大臣今泉改事ヲ上海ニ出張セシメ度

記

一 出張ノ目的

上海特務機關武官ニ對シ AF₃ 暗号 解読法ヲ説

明セシムルニアリ

二 行動ノ予定

三月廿一日 東京 出発

三月廿二日 上海 着

三月廿三日 長崎 着

三月廿四日 長崎 出発

三月廿五日 上海 着

三月廿六日 東京 着

終

海軍

模造半葉十三行罫紙(本田物)



部内限

起案第一號

昭和十三年三月五

日起案

起案者捺印

閣

三月十日發付

發付係捺印

發付後起案者捺印

主務

人事局長

第一課長

德永

局員

高

大臣

副官

書記官

次官

書記官

三月十日

軍務局長

第一課長

局員

局員

局員

局員

經理局長

第一課長

山本

局員

局員

局員

局員

局員

昭和拾貳年參月拾八日公報掲載済

命令

東通

海軍少將 野村

直邦

海軍少佐 中村

三男

經理局 12.3.-8

中華民國及滿洲國へ出張ヲ命ス

昭和十三年三月十八日

海軍省

(備考) 本旅行中一部飛行機ヲ使用

入籍 八七

臺灣案

昭和十三年三月十六日

大臣

内閣總理大臣宛

官吏海外出張ノ件ニ臺灣

左記ノ者ニ對シ別記豫定ヲ以テ中華民國及
滿洲國へ出張ヲ命シ度ニ付總可相成度

記

海軍少将	野村	直邦	控
(別記)			
一、目的	視察		
二、出発	三月二十一日		
三、期間	約二十五日間		
四、旅費支科目	滿洲事件支費、滿洲事件支費		
雜誌支費、外國旅費	「」内國へ出費		

海

軍

附 箋 紙

旅費

控

昭和十

五
五

五

紙 箋 附

昭和十一年三月五日

人事局

経理局 作中

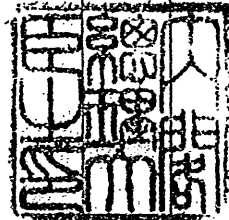
旅費支出科目記入相成度

0222

内閣海 第四七 號

昭和十二年三月十六日

内閣總理大臣 林 銑十郎



海軍大臣 米 内 光 政 殿

指 令

海軍少將野村直邦中華民國及滿洲國へ出張ノ件認可ス



内閣

日次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
月日	3-21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4-1
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
地名	東京	門司		青島				青島	天津	天津	北平	
發着便	発一五〇〇	着〇九〇〇 発一三〇〇		着(号)				発〇七二〇 着二〇五〇 汽車	着 一〇三〇 汽車	発一三三〇 着 一三三五		
記事												北平滞在 (通称 方面記事)

軍務局

野村軍人少将 第三部長 (中村少佐臨時) 北支防務局長 表

四月十六日 次赤子着之

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
夕	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
			奉天 大連	奉天	哈爾濱 奉天				新京 天津	新京 天津	山内 天津	北平
	好汽船便ニ修る	奉天 〇八二五	奉天 〇二四〇	奉天 〇八二〇	奉天 〇九一〇				奉天 〇一八〇〇 〇二二〇〇	奉天 〇七〇〇	奉天 〇三二五〇 〇三三〇〇	奉天 〇九四五〇
				奉天 滞在			大星 河島 等 の 視察		新京 滞在		山内 〇一五三五 (足車) 奉天 〇二二四〇	

海軍 (原稿紙)